

豪州準備銀行は年後半以降の景気回復シナリオを想定

- 豪州準備銀行(RBA)は政策金利の据え置きを決定。国債市場の機能改善から、国債買い入れ規模を徐々に縮小。
- RBAは20年後半以降の景気回復を見込む。20年2QのGDPは前年比-8%へ落ち込むも、21年には急回復を予想。
- 豪州のコロナ感染問題は早期終息が視野に入る。豪州政府は7月の本格的な経済活動再開に向けた行程表を公表。
- 行程表での規制解除の実行は各州政府が判断へ。規制解除の進展は景気回復シナリオの実現性を高める要因に。

RBAは5月5日の理事会で政策据え置きを決定

豪州準備銀行(RBA)は5月5日の定例理事会で、政策金利(キャッシュレート)および豪3年国債利回りの誘導目標を0.25%で据え置くことを決定しました(図1)。

RBAは声明文において豪州国債市場の機能が改善したとの評価を示し、3月20日から実施してきた国債買い入れの規模と頻度を縮小してきたことを明らかにしました。ただし、RBAは「国債買い入れを再び増額する用意はある」と述べ、今後は市場環境の変化に応じて柔軟に量的緩和策を調整する方針を示唆しています。

RBAは先行きの金融政策についても、「完全雇用への進展とインフレ率の回復に確信が持てるまでは、政策金利の引き上げは行わない」と述べ、当面の間は現状の緩和的な金融政策を維持する姿勢を示しました。

RBAは20年後半からの景気回復シナリオを想定

また、RBAは5月8日に公表した「四半期金融政策報告」の中で、最新の豪州経済の見通しを明らかにしました。

RBAのメイン・シナリオでは、新型コロナウイルス抑制のための各種規制は2020年7-9月期までに概ね解除されるとの想定のもと、2020年後半からの個人消費主導の景気回復が見込まれています。RBAによれば、豪州の実質GDPは2020年4-6月期には前年比-8%まで大きく落ち込んだ後、2021年4-6月期には前年比+7%へ急回復が予想されています(図2上段)。

また、RBAの失業率予想に関しては、2020年4-6月期に10%まで急上昇が見込まれるものの、経済活動の再開が想定される2020年後半以降は緩やかな労働市場の改善が進むとみられています(図2下段)。

図1: 豪州準備銀行の政策金利と豪州国債利回り

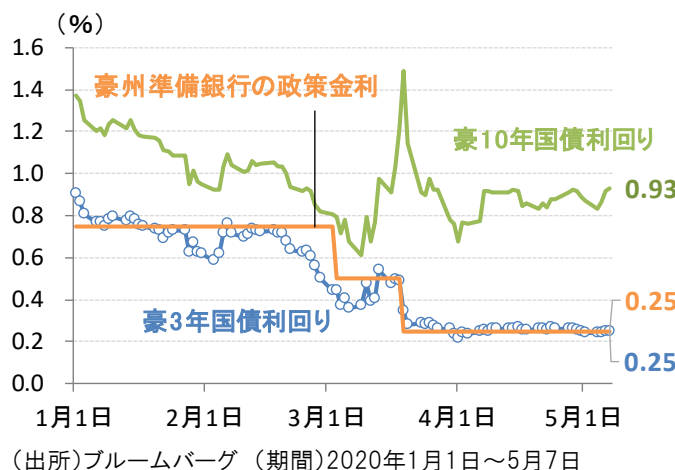
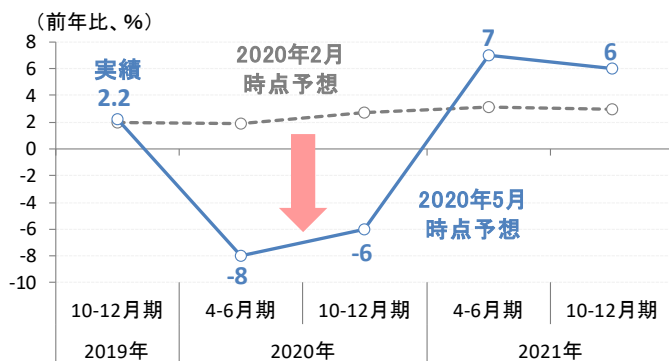
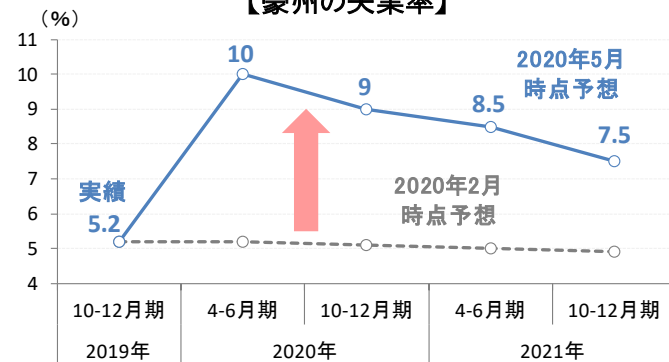


図2: 豪州準備銀行による豪州経済見通し

【豪州の実質GDP成長率】



【豪州の失業率】



(出所)豪州準備銀行

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。



新型コロナウイルスの早期終息が視野に入る豪州

豪州では新型コロナウイルスの感染抑制の進展から、早期の感染終息が視野に入りつつあります。

特に4月下旬以降、豪州の一日当たりの新規感染者数は10～20人前後の低水準で抑制される傾向にあります(図3)。新型コロナウイルスの感染抑制に安定した成果が出始めたことで、豪州政府の政策の焦点はすでに経済活動の早期再開に向けた規制解除に移り始めています。

豪州政府は7月の経済活動の本格再開を目指す

モリソン首相は5月8日に開催した各州政府首長との連絡会議「ナショナル・キャビネット(国家内閣)」を受けて、「2020年7月の本格的な経済活動の再開」という目標に向けた規制解除の行程表を明らかにしました(図4)。

まず、第一段階の規制解除では、集会規制の緩和や、レストラン・カフェ・小売店の営業再開、対面での住宅の販売活動・オークションの再開などによって、個人消費や住宅取引が徐々に回復に向かうと期待されます。

第二段階の規制解除では、20人までの集会規制の緩和や、娯楽活動(ジム、エステ、美術館、遊園地の再開)、一部の州間の旅行も認められるようになります。

最後の第三段階の規制解除では、労働者の職場勤務の再開や100人までの規模の集会在認められ、企業活動の正常化が促されると期待されます。また、第三段階では、全ての州間の旅行規制の緩和のほかにも、ニュージーランドや太平洋諸島との旅行再開や外国人留学生の出入国規制の緩和が検討される計画となっています。

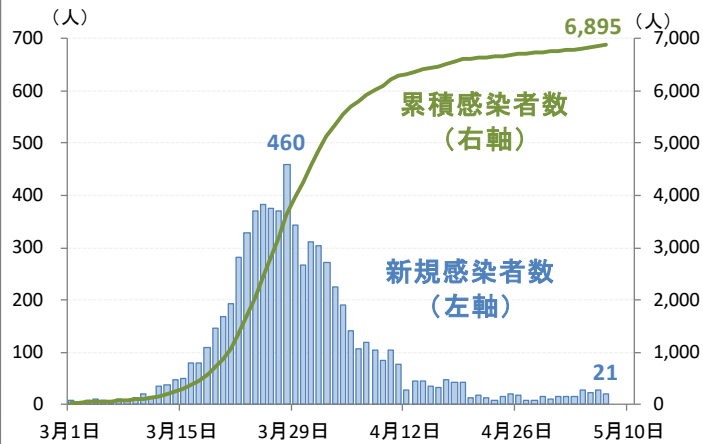
今後の規制解除の実行は各州政府の判断に

もともと、豪州政府の行程表で示された3つの段階の規制解除をどのタイミングで具体的に実行するかは、州政府の判断に委ねられています。

すでにクィーンズランド州政府は5月16日より第一段階の規制解除を開始する方針を示しているほか、南オーストラリア州政府やタスマニア州政府、豪州首都特別地域なども早期の規制解除開始を表明しています。

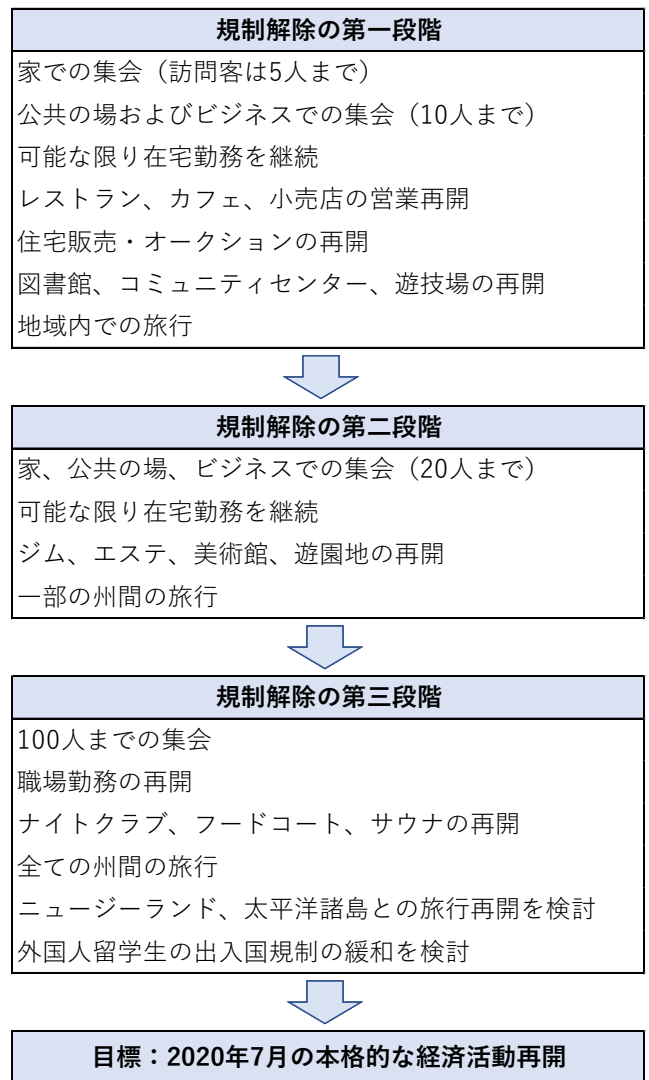
今後、豪州政府の行程表に沿って各州政府が規制解除を進めれば、経済活動の再開が徐々に豪州全体に広がり始め、豪州準備銀行が想定する2020年後半以降の景気回復シナリオの実現性を高める要因になりそうです。

図3: 豪州の新型コロナウイルスの感染者数の推移



(出所) 豪公共放送ABC (期間) 2020年3月1日～5月7日

図4: 経済活動再開に向けた豪州政府の行程表



(出所) 各種報道、豪州政府公表資料(2020年5月8日)

●当資料は、説明資料としてレッジ・メイン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。